

急性期脳血管障害に対する作業療法

作業療法が取り扱う生活行為

身の回りのこと



食事・着替え・入浴
排泄・身だしなみなど
日常生活を営むための
基礎となる生活行為です。

しごと



社会・家庭での役割と
なる生活行為で、生き
がいや自分の能力を
発揮できているという
感覚を生み出します。

余暇



楽しむための生活行為で、
気持ちを前向きにするた
めに欠かせません。

休息



ストレスや疲れを軽減す
るための生活行為です。

**急性期から生活行為の
バランスを整える事が重要です。**



作業療法部門取り組み内容

- **運動・感覚機能障害についての作業療法**
 - ①機能的電気刺激（FES）など物理療法を併用した運動療法
 - ②ニューロサイエンスに基づく運動療法
- **高次脳機能障害についての作業療法**
 - ①高次脳機能障害の評価スクリーニングのセラピスト間での統一
 - ②データベースの作成
 - ③急性期に生じる高次脳機能障害の発生率および改善率とその損傷部位の検討
- **ポジショニングを含めた環境設定の充実化**
 - ①勉強会の企画および実施
 - ②適切な自助具の選定、環境設定
 - ③病棟での写真の掲示
- **セルフケアに対する作業療法の充実化**
 - ①実際のADL場面（食事、更衣、整容、排泄、清拭など）での作業療法介入
 - ②看護師に個々の患者に対する具体的な介助方法の提案



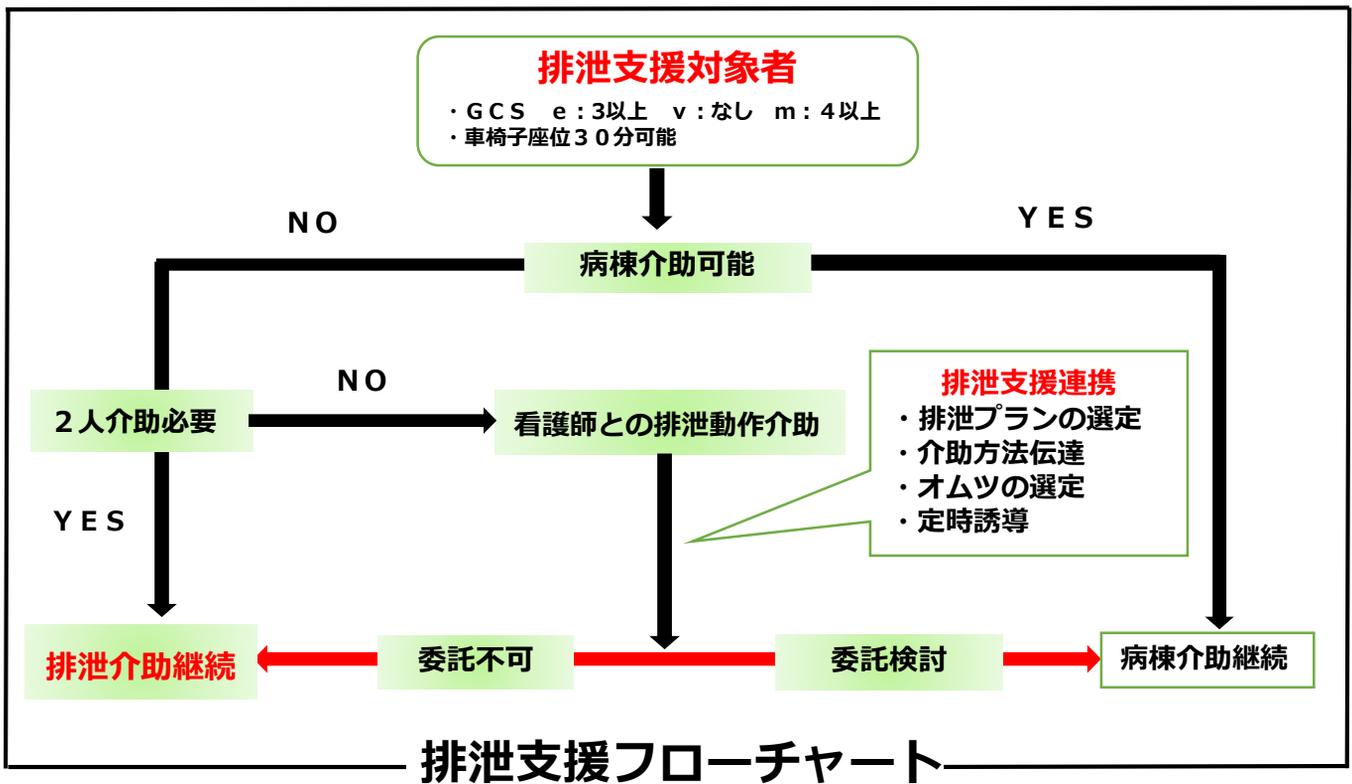
基本練習



模擬的動作練習



実動作練習



排泄支援 カンファレンス

看護師：「トイレの訴えが多く、介助が大変で困っているんです。」

PT：「リハでは立位保持は中等度介助です。」



OT：「排泄リズムの把握、介助方法の検討や環境調整を検討しましょう。」

排泄支援取り組み内容

- 排泄支援を円滑に行うために介入フローチャートを作成実施している。
- 患者さまの動作レベルに応じて排泄支援プランを選定し、直接排泄場面への介入を行い、看護師に委託していく。
- 介助指導、オムツの選定やトイレ環境選定など環境調整にも尽力している。